

# 多文化共生のまちづくり ～難民について知ろう～



2024年 **7月21日** 13:30～17:15

会場 **大阪国際交流センター 2階 小ホール**

(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

定員 **80名**

講師 **中坪 央暁** 氏 ジャーナリスト/AAR Japan(難民を助ける会)

映画アフタートーク **日向 史有** 氏 「東京クルド」監督/Zoom

トルコでの迫害を逃れ来日したクルド人青年のドキュメンタリー映画「東京クルド」の上映・監督の講演と、日本生まれの国際NGOである AAR Japan (難民を助ける会) の活動についての講演を通して、難民の置かれている状況や課題について学びます。

また、会場にはウクライナ、ロヒンギャ難民の写真 (AAR撮影) を展示します。

難民も含めた外国人住民とともに、同じ地域に暮らす住民として参加者自身ができることを考え、理解を深めましょう。



©2021 DOCUMENTARY JAPAN INC.

同時開催 **写真展** (ウクライナ・ロヒンギャ難民)



AAR Japan 提供

# 多文化共生のまちづくり ～難民について知ろう～

## タイムスケジュール

### 第1部

13:30～14:15 講演 「難民支援の現場～ウクライナ危機を中心に」

ジャーナリスト/AAR Japan (難民を助ける会) **中坪 央暁** 氏

### 第2部

14:30～16:15 映画 「東京クルド」上映

16:30～17:15 映画アフタートーク

「作品に対する思い、制作のきっかけ・エピソード等」(Zoom)

監督 **日向 史有** 氏



なかつぼ ひろあき

**中坪 央暁** 氏 ジャーナリスト/AAR Japan (難民を助ける会)

全国紙の海外特派員・本社編集デスクの後、国際協力機構 (JICA) の派遣でアジア・アフリカの紛争地を取材。2017年AAR入職、バングラデシュ駐在としてロヒンギャ難民支援に従事。2022年以降、戦時下のウクライナ国内や周辺国を取材している。

著書『ロヒンギャ難民100万人の衝撃』、共著『緊急人道支援の世紀』ほか。同志社大学卒

### 映画「東京クルド」のあらすじ

故郷での迫害を逃れ、小学生のころに日本へやってきた オザン (18歳) とラマザン (19歳)。二人は難民申請を続けるトルコ国籍のクルド人。入管の収容を一旦解除される「仮放免許可書」を持つものの、許されているのは「ただ、いること」。立場は非正規滞在者で、住民票もなく、自由に移動することも、働くこともできない。また社会の無理解によって教育の機会からも遠ざけられている。いつ収容されるか分からないという不安を常に感じながら、それでも夢を抱き、将来を思い描く。



ひゅうが しみあり

**日向 史有** 氏 「東京クルド」映画監督

2006年、ドキュメンタリージャパンに参加。ウクライナの徴兵制度や在日シリア人難民などをテーマに番組を制作。2018年「東京クルド (短編版)」が Hot Docs (カナダ) など数々の映画祭で上映。長編版は2021年全州国際映画祭 (韓国) 特別審査員賞を受賞。最新作『アイム・ア・コメディアン』は2022年東京国際映画祭で上映され、今年7月に全国公開が始まる。



## 公益財団法人 大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8-2-6

TEL 06-6773-8989

FAX 06-6773-8421

URL <https://www.ih-osaka.or.jp>

アクセスマップ

